

1-59

総発第314号 昭和25年7月29日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

特殊技術者の待遇改善について（申入）

本会議は、昭和25年1月23日総発第23号の4をもつて、標記のことについての希望を述べましたが、その際例示しました硝子細工工、精密機械工、研磨工、微量分析工の他ムラージュ技術者も同様な性質のものでありますから左記に留意してその待遇改善につとめ、特に職階制を実施される際には十分注意されるよう希望します。

記

1. ムラージュ技術は稀有な特技であり、医学会において研究上必要な貴重な模型標本、医学教材の作成に欠くことのできないものであること。
2. ムラージュ技術者は、徹底的写実描画の技法、塑造彫刻の才能を有し、忍耐力の大なる特定の者が長年の実地勉学の後始めて一人前となり得るものであること。
3. 現在全国中に僅か6名の技術者があるに過ぎず、しかも後継者のない状態にあること。

写 文部大臣

人事院総裁

1-60

総発第446号 昭和25年10月17日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

科学者の生活擁護について（申入）

本会議は、去る10月7日の本会議第7回総会の議決に基き、標記のことに対する政府の誠意ある措置を期し、左記のことを申入れます。

現在殆んど大部分の科学者・研究者は生活に追われ、本来の研究を半ば放棄しなければならない状態にある。このことは、わが国の科学の将来のために由々しい事態であると考ええる。

政府は、科学者の生活を擁護し、少なくともある程度生活に煩らわされることなく研究に従事し得るよう特別の考慮を払われたい。

1-61

総発第450号 昭和25年10月23日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

ユネスコ事業計画について（申入）

本会議は、10月5日、本会議第7回総会において左記のことを議決いたしました。

本会議は、このことについて政府の考慮を促し、善処されるよう要望します。

記